



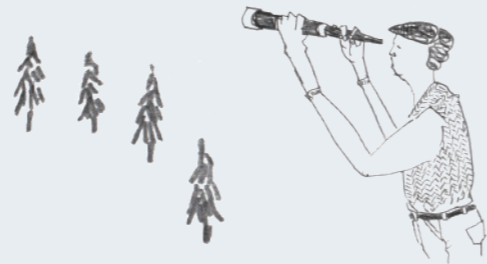
た
か
ら
の
や
ま

た
か
や
ま

山々に囲まれた高原の盆地 群馬県 高山村

takayama village, gunma, japan

群馬県高山村は、四方を山に囲まれた、人口およそ 3600 人の小さな農山村。かつては越後と江戸を結ぶ三国街道の宿場として大いに賑わった場所です。温泉が豊かに湧き出て、夏は過ごしやすく避暑に最適。あらゆる人を癒してくれる場所として県内外の方々に人気の場所です。



高山村の気候について

高原地域で、夏の夜は涼しいため窓を閉めて寝るほど快適です。冬は気温が下がり、風花が舞う日が多く、積雪量は多い時で 30cm ほどです。一年を通してカラッとして過ごしやすく、旬の野菜を干して楽しむのに、もってこいです。

村人の働く場所について

高山村の人は、高山村内では建築業や農業、サービス業などに従事している人が多くみられますが、現状では、村外（近隣のみなかみ町、沼田市、昭和村、前橋市、渋川市、高崎市、東吾妻町、中之条町など）へ働きに出る人が多く見受けられます。



高山村で「たからさがし」しませんか？

正直言えば、高山村が誰にとっても“たからのやま”に見えるわけではない。ここにあるものと共に、ありのままの自分の暮らしを、自分で作っていくこと。もしそれを望んでいなければ、“たからのやま”は見つからないでしょう。それは 村の暮らしを楽しんでいる人達 11 人の取材を終えて、11 人の共通点から見えてきたことです。（裏面参照）

高山が「たからのやま」に見える人とは

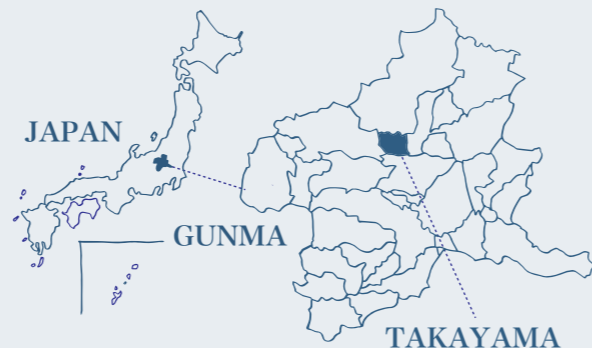
- ◆里山暮らしも仕事も楽しみたい人
- ◆やりたいことがあり地域の中で生きていきたい人
- ◆自分で未来をつくるクリエイティブな力がある人



た
か
ら
の
や
ま

た
か
や
ま

人のあたたかさ
豊かな里山の資源
ここから
受け取ることができたなら
ここは たからのやま



◆JR 上越新幹線「上毛高原駅」 20分
◆JR 吾妻線「中之条町駅」 15分
◆JR 上越線「沼田駅」 20分
◆渋川市内 30分
(全て車での所要時間)

東京へは、上越新幹線「上毛高原駅」を利用すると 1 時間 30 分
村民は、村へ申請すれば上毛高原駅 徒歩 0 分の駐車場へ無料で駐車することができる。

人口 約 3,600 人
面積 64.18 km²

山の手線の内側の広さと同じくらいの広さ。

高山村は、群馬県の北西部に位置し、東は沼田市、南は渋川市、西は中之条町、北はみなかみ町に接しています。また、南北に 1000m 級の山々が連なり、村の中央を名久田川が流れています。村内は、地形が異なる二つの地区、盆地状の中山地区と、谷間で中之条盆地の一部である尻高地区に分かれています。また、農地は、標高 420m から 700m までと幅広く分布し、昼夜の寒暖差が美しい野菜を育てます。

くらしの施設

地区集会所	13	診療所	1
保育園	1	歯科医院	1
幼稚園	1	郵便局	1
小学校	1	農協	1
中学校	1	ATM	1
駐在所	1	温泉	2
交流施設	1	道の駅	1
複合施設	1	コンビニ	1

宿泊施設

農家民宿 亀久保ゆっこ	高山温泉 ふれあいプラザ
農家体験のできる宿です。客室からの景色が良いと人気。住所：高山村尻高甲 2174 電話：0279-63-3685	温泉に入り放題のコテージです。中山盆地を見渡せます。住所：高山村大字中山 2357-1 電話：0279-63-2000
みどりの村キャンプ場	上毛高原キャンプグラウンド
住所：高山村大字中山 6853 電話：0279-63-2431	住所：高山村中山 6766-1 電話：0279-63-1760

村人に聞いた「村に不足中の人材」

- ◆有機農業を始めたい人
- ◆一流の蕎麦を栽培したい人
→ すぐにでも教えてくれる先輩がいます。（裏面参照）
- ◆空き家をリノベーションしてゲストハウスやシェアハウスを運営したい人
→ 宿泊施設や交流拠点が不足しています
- ◆農産物など土地の資源を活かして仕事を創り出したい人

まず高山を感じてみたい、という人はお気軽にご連絡ください。

祖父の擗儀で久しぶりに訪れた高山村の風景に感動し 9 年半過ごした山形県から群馬県高山村へ、孫ターン移住しました。現在家族でカエルトープを運営。

高山村 移住・定住コーディネーター
飯塚 咲季 Saki Iituka
takayamallivingscap.wixsite.com
TEL 050-3704-6204

カエルトープ

群馬県高山村尻高 107-1 / 日・月・金 open
民家や小屋を家族で改装し、クラフト雑貨の shop、gallery、café スペースなどがある手づくり暮らしの風景を大切にしているお店。



高山は英語教育が盛ん
小学生から中学生まで
学校以外で英語
を楽しく学ぶ
放課後の場がある
しかも無料



平形さん ご夫婦

カナダで有機穀物の会社に勤務していた夫清人さん。同じくカナダの大学に通っていた妻の佐和美さん。二人はカナダで出会い、清人さんの実家がある高山で農業を始めてキミドリファームを開業。8年目。清人さんはこれまでカナダと高山で地域おこしの活動も精力的に行っていた。佐和美さんは「TEACH」のメンバーでもある。現在二人は WWOOF という制度を使い世界中から様々な人を農業体験で受け入れている。美味しいものを食べてもらい、人と人をつなぐ交流の場として、農業をしていきたい。

高山の豊かな
里山の環境を活かした場所作りをし
次世代に伝えていきたい

子どもを産んだら
当たり前前に
みんなが喜んで
応援してくれる
それってすごい安心感

幸福度が高い



石坂 元美さん

栃木県佐野市で生まれ育つ。夫の実家が高山村だった。現在看護師として沼田市に勤務している。「小さな村でも、より多様性を感じ、受け入れられる心を育てたい。」という想いから、「コミュニケーションツールとしての英語に、楽しく触れられる場を！」というモットーの元英語ができる主婦三人で「TEACH」を発足した。当時、赤ちゃんをおんぶして、役所に「TEACH」を始めたいと提案したところ、教育長がすぐに会議を開いてくれて実現。コンパクトな村の良さを感じたという。そして現在 6 人目のお子さんを妊娠中！



たからのやま

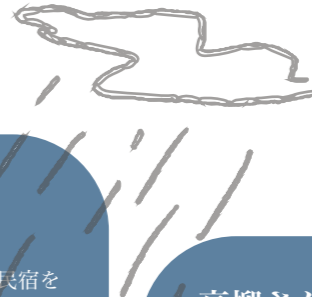
松井 ゆき子さん

保育士を経て役場勤務、その後早期退職し、農家民宿を起業。「亀久保ゆっこ」を開店。家業は枝豆、こんにやくの農家。高山生まれ、高山育ち。高山のいいところを、来てもらい体験してもらおうことで、伝えている。コツコツ、長く続けられる活動をしていきたいとのこと。お料理の美味しさに定評あり。農家民宿の他に、子育てカフェなどへのおかし作りや、お年寄りへのお料理などを作るお仕事もしている。



高山の人は
ぶっきらぼうだけど
本当はいい人ばかり
シャイなんだよね

高山はさあ
山に囲まれてっから
水質がいいんだ



高柳さん ご夫婦

高山村出身のご夫婦。お蕎麦の栽培を夫婦で 11 年。一流のお蕎麦屋さんや、蕎麦農家さんが、高柳さんの蕎麦粉を求め、全国各地から視察にくるほどの一流の蕎麦農家です。耕作放棄地を開墾していくうちに、畑の広さは今や東京ドーム 8.5 個分！使うことで土地を守るという感性でバリバリ働く夫婦。自分が育てた蕎麦の実がどんな味なのかを確かめるべく、村の「いぶき温泉」の隣でお蕎麦屋さん「たか柳」を週末土日だけやっています。蕎麦の育て方を知りたい人、高柳夫妻を訪ねてみては。

高山暮らしのススメ

高山村で活躍している方々に聞いてみました。あなたにとっての「たからのやま」



中学生全員に
オーストラリア留学
の機会がある



割田 久美子さん

「TEACH」メンバー。英語を教える傍ら、中之条で自らパソコン教室を営んでいる。以前は塾を高山で営んでいた。村の子どもたちの心の成長に寄り添い、心理学を学ぶため大学に行きなおしたことも。自身も高山で子育てを終えた今、「高山で子育てができて本当に良かった！」と語る。現在高山に住む孫を溺愛中。とにかく何事もパワフルにこなす、スーパーウーマン。

自然と共に子育てができる

行政がダイレクト

高山は
都会と比べて光が違う
キラキラして世界が違う



あそこは
宝の山だな
って思ったんだ



後藤さん ご夫婦

東京でデザイン事務所を営んでいた明宏さん。娘さんが4歳の頃、家族で故郷高山に引っ越して来たが、明宏さんは週末きのこの栽培をメインにし、平日はデザイン事務所の仕事を続けていた。その後、どんどん農業にクリエイティブを見出し、ついに農業を本業に。有機と自然栽培の農園「銀河高原ファーム」を夫婦で営んでいる。死ぬまで農業がやりたい！とのこと！！次期農業研修生大募集中。

渡辺さん ご姉弟

左) 藍さん。右) 聖光さん。藍さんの夫の弟が聖光さんで、二人で後藤さんの農園にて、農業研修生として学んだ。2019 春より、お二人とも農家として独立。藍さんは小五男子のお母さん。明宏さんからは「藍ちゃんは男性と同じくらいの体力がある！」とお墨付き。聖光さんは猟銃の免許を取得し、イノシシを狩る経験なども積んでいる。お二人とも休日は、山でつる採り、山菜採りなど、高山の恵みを楽しんで暮らしています。

とにかく
ばあちゃんたちの
ご飯が
美味しくて幸せ
主婦でも
農業できるよ
(体力があれば笑)



楽しまなっつちやー！



人生一度きり

深代 清さん

現在道の駅勤務。生産者さんたちに販売方法などを教えている。高山村に生まれ、育った。高山農協に入職し、農業に関する知識を深めた。仕事のほか、山あそびの達人。春は山菜、夏は畑で野菜を作り、秋はきのこ狩りにつる採りなど。冬はスキーと、秋に採ったつるでカゴを編む。籠編みなどの講師も務めるほどの腕前。高山での山あそびについてのご相談は、高山村中山盆地道の駅まで！！